

## 地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 上町

【計画】 作成担当者： 米森 貴子

開催日時	令和01年07月30日 14:00 ~ 15:30	開催場所	清水町公民館
参加者	民生委員：3人、コミュニティ協議会：3人、校区社会福祉協議会：1人、社会福祉法人：3人、社会福祉協議会：1人、保健センター保健師：1人、病院相談員：1人、居宅介護支援事業所・デイサービス事業所代表者：1人、地域包括支援センター職員：9人 総数 23人		
内容	テーマ	1. 前年度の経過報告 2. 各校区別課題の現状確認 3. 介護予防・生活支援サービス事業所協議会報告 4. 認知症地域支援推進員より	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発	
	概要	1. 平成30年度上町地区地域ケア推進会議の内容を報告。 2. 各校区別課題の現状確認 「清水」「大竜」「名山」地区別にグループに分かれ、グループ討議を行う。 3. 介護予防・生活支援サービス事業者協議会の報告について生活支援コーディネーターより説明。 4. 認知症地域支援推進員より、認知症施策について説明。上町圏域にはオレンジカフェが一つも無いことから、認知症カフェの推進、協力、参加を呼びかけを行う。	

【結果】

開催日時	令和01年07月30日 14:00 ~ 15:30	開催場所	清水町公民館
参加者	民生委員：3人、コミュニティ協議会：3人、校区社会福祉協議会：1人、社会福祉法人：3人、社会福祉協議会：1人、保健センター保健師：1人、病院相談員：1人、居宅介護支援事業所・デイサービス事業所代表者：1人、地域包括支援センター職員：9人 総数 23人		
内容	<p>グループ討議より            検討①「各地域の特色、困りごと等について」            【清水】集いの場：お達者クラブなどあるが、参加者は同じ方ばかりに偏る。地域の方が望むニーズを把握し、イベントなど取り組む必要性あり。見守り支援：福祉部会にて見守り活動パンフレット作成し、会員へ配布している。            【大竜】地域課題：高齢化率が高くなり、老老介護や孤独死、ダブルケア（介護＋子育て）などの問題が出てきている。見守り支援：月1回の防犯パトロールを行う際に、危険箇所の確認だけでなく高齢者の見守りも行っている。集いの場：ふれあい会食や老人クラブの研修旅行など高齢者の方が外に出てもらう働きかけをしている。            【名山】集いの場：中心街の地域ということもあり、サロンが無い。また公民館が少ない為、災害時などの緊急の際の対応が困難。大人数で集まれるような場所がない。買物支援：商店も多い為、買い物困難という相談は少ない。            検討②「暮らしやすい地域にするため、どのような社会資源・地域資源があればよいと思われますか？」            【清水】寄り合いの場への参加者を増やす為、地域の方が望むようなイベントに取り組む必要性あり。65歳未満の方の相談体制、要支援から要介護認定移行時など、本人を中心に民生委員、事業所、包括、保健センター含めて、情報共有し連携できる体制づくりを求める。            【大竜】集いの場はあるが、参加しない方も多いため、もっと皆が集まれるような場を作れるように、高齢者・地域の情報を把握する必要性あり。世話役の方の高齢化も問題で、若手でリーダーシップをとる方を育てていく事も大事。            【名山】これまで商売をしてきた人が多い地域なので、現役時代の技術を生かした場作りが必要。特に男性など技術を持っている方が多いことから、技術を生かし地域との関わりが持てるような仕掛けが必要。集いの場を地域の高齢者が望んでいるのか、地域のニーズを拾い上げる必要もある。</p>		
今後の課題など	清水、大竜、名山それぞれの地域課題があがる中、「地域に住む高齢者のニーズを検討する」という共通課題が見えてきた。共通課題に関しては第2回上町地区地域ケア推進会議にて検討していく。各地域課題については、今年度開催予定の地域ケア会議にて圏域の居宅介護支援事業所やサービス事業所にも協力頂くように提案していく。		